

2012年度
**企業人
派遣講座**



一般財団法人
経済広報センター

はじめに

経済広報センターは、次代を担う大学生に最新の経済動向や産業の実態などについて、実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を開設しています。1986年度に早稲田大学国際部(現・国際教養学部)で開始して以来、延べ10大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特徴ある事業や直面している経営課題、技術開発について、最新のトピックスを交えながら、わかりやすく学生たちに語りかけてきました。

2012年度は、8大学(うち3大学は同一講義をインターネット相互配信)で9講座を開設、合計110人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計2,114人にのぼります。

大学や学生からは、日本経済や企業の実体、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。

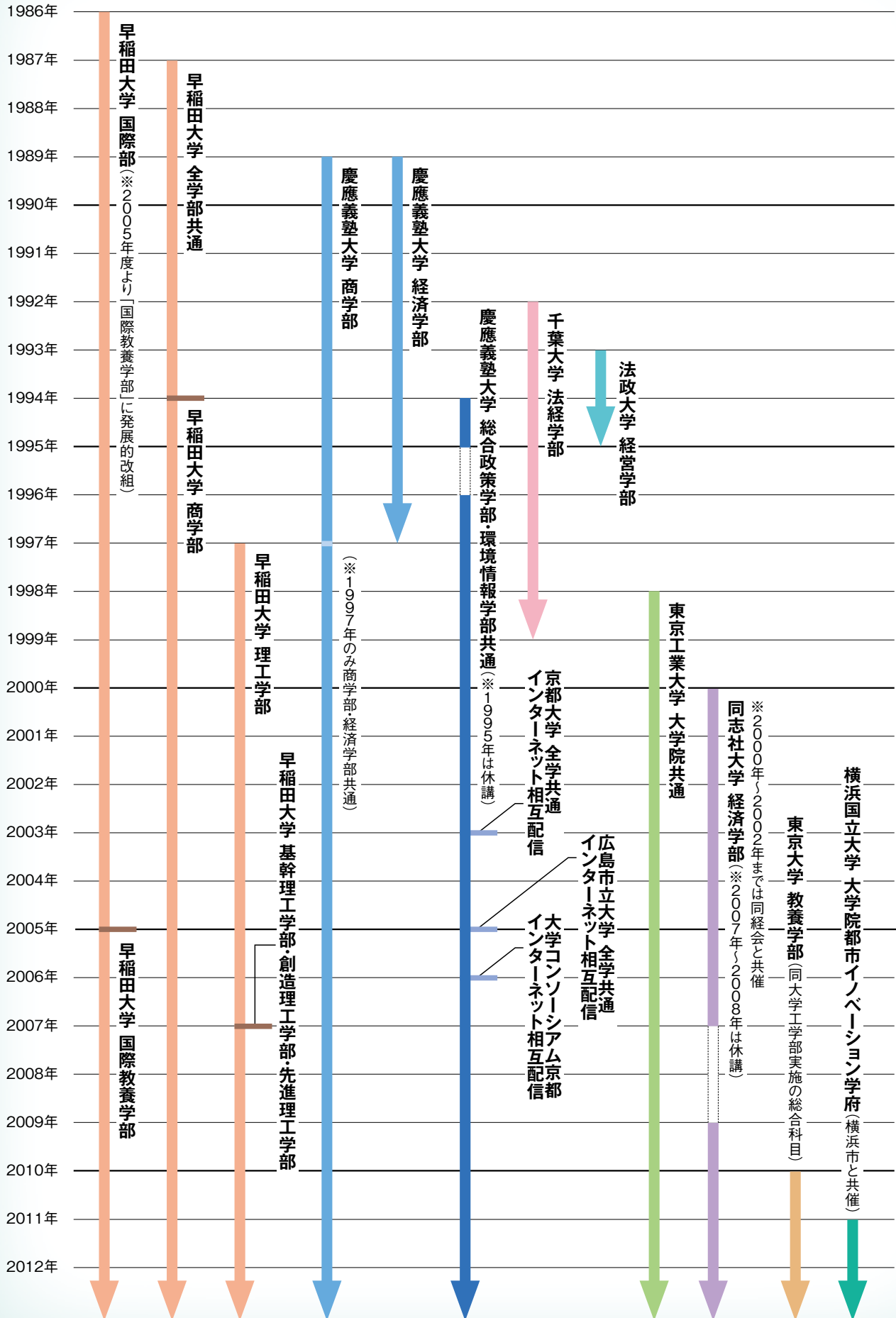
近年、わが国経済の高付加価値化や事業のグローバル化に伴い、産業界が人材に求める素質や能力のレベルも高まりつつあります。産業界で活躍できる人材の育成といった観点においても、産学連携による本講座への期待や重要性は、ますます高まってきていると実感しております。

最後に、お忙しい中、ご出講いただきました講師の方々および関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

一般財団法人 経済広報センター
常務理事・事務局長

中山 洋

企業人派遣講座の経緯



2012年度

(「株式会社」「財団法人」等および敬称は省略した。企業名、部署・役職名等は出講日時点)

前期・春学期・夏学期

■ 早稲田大学 国際教養学部	
『日本企業論』	4
■ 慶應義塾大学 商学部	
『グローバル時代の企業経営』	5
■ 同志社大学 経済学部	
『科学と技術』	6
■ 東京大学 教養学部(同大学工学部実施の総合科目)	
『科学技術が拓く未来社会』	7
■ 横浜国立大学 大学院都市イノベーション学府(横浜市と共催)	
『都市マネジメント』	8

後期・秋学期

■ 早稲田大学 商学部	
『グローバル化における日本企業の現状と課題』	10
■ 早稲田大学 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部	
『21世紀における科学技術と社会』	11
■ 慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義	
■ 京都大学 全学共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、広島市立大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義	
■ 広島市立大学 全学共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、京都大学(全学共通)、大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学)と共通講義	
■ 大学コンソーシアム京都(単位互換参加大学・短期大学) 全学共通	
『21世紀の企業の挑戦』	12
※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、京都大学(全学共通)、広島市立大学(全学共通)と共通講義	
■ 東京工業大学 大学院共通	
『科学技術特論』	13

前 期 学 期
 春 学 期
 夏 学 期



慶應義塾大学商学部



横浜国立大学大学院都市イノベーション学府



東京大学教養学部



早稲田大学国際教養学部



同志社大学経済学部

■受講生

早稲田大学国際教養学部学生 98名

■コーディネーター

クリストファー・ボカリア / 早稲田大学 国際教養学部教授

日本企業論

～日本企業の国際戦略とその経営理念～

〔シラバス抜粋〕

Through a different firm example each week students can gain insights into how a range of industries have evolved in Japan, and their strategies and difficulties in responding to intensifying global competition, difficult economic times at home and abroad, and technological and social change. Students do not need to have a background in business studies, although some familiarity with key business concepts and issues will prove to be helpful.

4月11日	オリエンテーション	クリストファー・ボカリア	早稲田大学 国際教養学部教授
4月18日	日本の金融市場(1)	菊池 正俊	メリルリンチ日本証券 調査部チーフ株式会社ストラテジスト・マネージングディレクター
4月25日	日本の電子機器産業と国際戦略	井上 武彦	パナソニック 渉外本部国際渉外グループグループマネージャー
5月9日	日本の情報通信市場と国際連携	辻村 清行	エヌ・ティ・ティ・ドコモ 代表取締役副社長
5月16日	日本の自動車産業と国際戦略(1)	益子 修	三菱自動車工業 取締役社長
6月6日	日本の金融市場(2)	ロバート・アラン・フェルドマン	モルガン・スタンレー・MUFJ証券 経済調査部長・マネージングディレクター
6月9日	3月11日の災害による経済影響	クリストファー・ボカリア	早稲田大学 国際教養学部教授
6月20日	日本の総合商社と新しい展開(1)	秋元 諭宏	三菱商事 国際戦略研究所副所長
6月27日	日本の総合商社と新しい展開(2)	小塚 睦文	三井物産 人事総務部グローバル・ダイバーシティ室
7月4日	日本の自動車産業と国際戦略(2)	桐本 慶祐	トヨタ自動車 広報部グローバルコミュニケーション室室長
7月4日 18:15-19:45	日本の航空産業と国際戦略	山路 顕	ANA総合研究所 客員研究員
7月11日	経団連が目指す通商戦略	金原 主幸	日本経済団体連合会 国際経済本部長
7月18日	期末試験	クリストファー・ボカリア	早稲田大学 国際教養学部教授

■受講生

慶應義塾大学商学部 3・4年生他 487名

■コーディネーター

今口 忠政 / 慶應義塾大学 商学部教授

グローバル時代の企業経営

〔シラバス抜粋〕

近年、経済のグローバル化が進展し、国内のみならず国際的な規模で企業の合従連衡が生じている。戦略提携による共同開発、海外企業との合併企業の設立、さらにはクロスボーダー型合併の増加などに、その傾向をみることができる。これらの企業経営は、グローバルな視野に立って事業計画を立案し、グローバルに物的・人的資源をマネジメントしなければならない。

本講義は、わが国企業がグローバル時代にどのような企業経営が求められているかという視点に立って、(1)グローバルに通用する製品や事業の開発、(2)海外企業との提携や合併・買収、(3)グローバル化とローカル化のマネジメントという点から、ふさわしい企業の経営者、管理者の方々に話を聞く。製造業から非製造業まで幅広い企業を対象として、自らの経験をもとにした講義を予定している。グローバル時代の経営のあり方を洞察し、どのような能力を修得する必要があるかを考えるような講義にしたい。

4月10日	オリエンテーション	今口 忠政	慶應義塾大学 商学部教授
4月17日	グローバル時代の企業経営(1)	谷内 晃	住友化学 国際アグロ事業部事業企画部長
4月24日	グローバル時代の企業経営(2)	有坂 徹	全日本空輸 国際提携室アシスタント・マネジャー
5月8日	グローバル時代の企業経営(3)	松崎 正年	コニカミノルタホールディングス 代表執行役社長
5月15日	グローバル時代の企業経営(4)	北条 了助	JX日鉱日石エネルギー 国際事業本部海外事業部長
5月22日	グローバル時代の企業経営(5)	村上 洋	東レ 取締役国際部門長
5月29日	グローバル時代の企業経営(6)	伊藤 喜彦	デンソー グローバル事業企画部長
6月5日	グローバル時代の企業経営(7)	栃尾 雅也	味の素 執行役員経営企画部長
6月12日	グローバル時代の企業経営(8)	飯田 年久	富士フイルム 電子映像事業部営業部担当課長
6月19日	グローバル時代の企業経営(9)	永井 達也	資生堂 国際事業本部アジアパシフィック営業部課長
6月26日	グローバル時代の企業経営(10)	酒井 良次	セブン-イレブン・ジャパン 取締役常務執行役員企画室長兼財務本部長
7月3日	グローバル時代の企業経営(11)	田邊 弘幸	双日 顧問
7月10日	グローバル時代の企業経営(12)	成井 隆太郎	ヤマトホールディングス 経営戦略担当シニアマネージャー
7月17日	まとめ(試験)	今口 忠政	慶應義塾大学 商学部教授

■受講生

同志社大学経済学部生を中心とする学部学生 95名

■コーディネーター

谷村 智輝 / 同志社大学 経済学部准教授

科学と技術 ～世界同時不況後の成長戦略～

〔シラバス抜粋〕

現代社会の動向は自然科学や技術と深く結びついており、経済現象も勿論例外ではない。科学・技術の本質や現在の状況を理解することは、現代社会の動きを理解する上で大変重要である。

本講義は、科学・技術の先端的な動向について、現実の企業活動や産業の展開との関連から学ぶ。そのために、企業や研究所から講師(ゲストスピーカー)を招き、最新のトピックスについて講義をお願いする。

4月10日	ガイダンス	谷村 智輝	同志社大学 経済学部准教授
4月17日	科学と技術を支える金融の役割	山田 耕治	京都銀行 金融大学校専任教授
4月24日	世界同時不況後の成長戦略	西村 永和	TOWA 取締役相談役
5月8日	世界同時不況後の成長戦略	高橋 良定	コマツ 常務執行役員生産本部長
5月15日	変貌する世界のエネルギー市場 ～総合商社とエネルギービジネス～	高井 裕之	住友商事 理事エネルギー本部長
5月22日	高速鉄道の海外展開	加賀山 慶一	東海旅客鉄道 技術企画部海外高速鉄道プロジェクトC&C事業室副室長
5月29日	東レグループの事業展開	太田 進	東レ 技術センター企画室長
6月5日	オゾンを用いた水処理技術	竹内 理	住友精密工業 産機システム事業本部技術本部環境技術部部长
6月12日	世界同時不況後の成長戦略	亀井 一郎	オムロン 人財総務センター人事部長
★ 6月19日	日立の経営戦略について	森田 守	日立製作所 戦略企画本部経営企画室室長
6月26日	金融危機後の世界と日本の金融サービス業	関 雄太	野村資本市場研究所 研究部長
7月3日	国際航空貨物 / ANAの戦略について	勝部 昭男	全日本空輸 貨物本部企画推進部企画チームリーダー
7月10日	グローバル環境における成長戦略とイノベーション	永 恭子	P&G 研究開発本部・グローバル事業開発本部ディレクター
7月17日	医療イノベーションと医薬品産業	菊池 満	中外製薬 執行役員渉外調査部長
7月24日	トヨタの環境技術開発戦略	土井 正己	トヨタ自動車 広報部担当部長

★ 台風により講義中止

■受講生

東京大学教養学部 1・2年生 30名

■コーディネーター

高井 まどか / 東京大学 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻教授

科学技術が拓く未来社会

(シラバス抜粋)

科学技術の発展は、産業の発展をもたらし、人間が豊かな生活を実現することに多大な貢献を果たしてきた。一方で、地球温暖化などの気候変動や大規模自然災害、希少金属や化石燃料などの資源・エネルギー問題、生物多様性などの地球規模の問題とともに、少子高齢社会を迎え 豊かで安全・安心な社会を実現するための様々な課題に直面している。

本講義では、企業の第一線で活躍する技術開発責任者や経営者が語る「未来社会」と工学部教員との間で交わされるトークを通して、科学技術が拓く未来社会について考えるとともに広く工学の全分野をカバーし、科学技術の面白さとその多様性や実社会との繋がりについて考える。

4月19日	ガイダンス	高井 まどか	東京大学 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻教授
4月26日	新しいテレビはわれわれのライフスタイルをどのように変えるのか	藤沢 秀一 (近山 隆 教授)	NHK放送技術研究所 副所長
5月1日	生産システムの技術革新	山口 賢治 (佐久間一郎 教授)	ファナック 取締役副社長製造本部長
5月10日	液晶技術を支える科学	樽見 和明 (加藤隆史 教授)	ドイツメルク社 シニアディレクター
5月17日	鉄道の技術的考察	細川 明良 (光石 衛 教授)	東日本旅客鉄道 運輸車両部長
5月24日	横浜市のスマートシティへの挑戦	信時 正人 (原田 昇 教授)	横浜市 温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事
5月31日	宇宙開発の実践と将来 ~開発から産業化に向けて~(商用衛星、宇宙ステーション補給機(HTV)の開発を通して)	小山 浩 (中須賀真一 教授)	三菱電機 宇宙システム事業部宇宙開発利用推進プロジェクト室室長
6月7日	スマートグリッド・スマートコミュニティが拓く未来社会	泉井 良夫 (近山 隆 教授)	三菱電機 先端技術総合研究所システム技術部門
6月14日	電気自動車の現状と将来展望	吉田 裕明 (近山 隆 教授、堀 洋一 教授)	三菱自動車工業 開発本部EV・パワートレインシステム技術部部长付
6月21日	個性的な技術開発によるGSCへの貢献	浅川 美昭 (水野哲孝 教授)	日本触媒 企画開発本部
6月28日	建設事業の現在と将来	鈴木 誠 (高田毅志 教授)	清水建設 清水建設技術研究所副所長
7月5日	鉄鋼概論 鉄の魅力…鉄の星『地球』で鉄を見つめてみよう	戸崎 泰之 (小関敏彦 教授)	住友金属工業 副社長
7月12日	高機能材料が拓く未来技術	伊藤 忠 (加藤隆史 教授)	富士フイルム 先端コア技術研究所副所長

※()は担当教員

■受講生

横浜国立大学大学院生 75名

■コーディネーター

高見沢 実 / 横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院教授
 信時 正人 / 横浜市 温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事
 横浜国立大学 非常勤講師

都市マネジメント

～低炭素型都市づくりへ・産業界の挑戦と都市マネジメント～

〔シラバス抜粋〕

これまでは、経済、人口の右肩上がり常識の世界の中で、すべての決め事はなされてきた。都市計画もその中で考えられてきたことは当然である。そういった状況の中ではハードの整備をすれば、自ずと中身は付いてくる、という常識の元、市街化区域・市街化調整区域といういわゆる線引き、用途地域指定という区割り、再開発や区画整理、といった都市開発手法、等々、これらの手法を組み合わせるとして都市は形成されてきた。しかし、これからの成熟した経済状況あるいは、人口減、というこれまで経験したことのない状況の中で、これまで通りの都市づくり手法では、時代に対応が出来ない。そこで、ハードの整備だけではなく中身、則ち、如何なる事業及び事業体が必要なのか、そういった事業及び事業体がサステナブルになるためには如何なるマネジメントが必要なのかを、大きな目で見た、都市のマネジメントについて講義する。

4月11日	低炭素型都市づくりへ 産業界の挑戦と都市マネジメント	信時 正人	横浜市 温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事
4月18日	宝さがしから地域デザイン・まちづくりの本質を考える①	山下 英一	宝さがしから地域デザインを考える会 理事長
4月25日	宝さがしから地域デザイン・まちづくりの本質を考える②	橋 正年	宝さがしから地域デザインを考える会 理事
5月2日	ミツバチを通じた都市部における自然との共生及び 新たな価値観の創造	林 慶一	三菱重工環境・化学エンジニアリング プラント事業本部プラント設計部技術グループ主任
5月9日	都市マネジメント 「都市とホテル」 ～環境に配慮した街づくり～	梅原 一剛	東急ホテルズ 相談役
* 5月16日	市民の意思あるお金で取り組む、自然エネルギーの普及促進	原 亮弘	おひさま進歩エネルギー 代表取締役社長
* 5月23日	EVと街づくり	二見 徹	日産自動車 IT ITS開発部エキスパートリーダー
* 5月30日	ゲームフィクションによる未来都市づくり	有馬 敏夫	バンダイナムコゲームス 研究開発センターマネージャー
* 6月6日	横浜市のスマートシティへの挑戦 ～横浜スマートシティ構想～(トークセッション)	有馬 敏夫 二見 徹 信時 正人	バンダイナムコゲームス 研究開発センターマネージャー 日産自動車 IT ITS開発部エキスパートリーダー 横浜市 温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事
6月13日	静脈産業から見た都市づくり	戸川 孝則	横浜市資源リサイクル事業協同組合 企画室室長
6月20日	低炭素型都市づくりへ エネルギーの方向性と東京ガスの挑戦	穴水 孝	東京ガス 燃料電池事業推進部長
6月27日	低炭素都市づくりへ JFEエンジニアリングの提案と貢献	白井 正明	JFEエンジニアリング 技術顧問
7月4日	大丸有(大手町・丸の内・有楽町)地区の 環境・防災エリアマネジメント	井上 成	三菱地所 都市計画事業室副室長
7月11日	東芝の考えるスマートコミュニティ	竹中 章二	東芝 執行役常務待遇スマートコミュニティ事業統括部首席技監
7月18日	宝さがしから地域デザインを考える	橋 正年 信時 正人	宝さがしから地域デザインを考える会 理事 横浜市 温暖化対策統括本部環境未来都市推進担当理事

* 横浜市による公開講座、一般市民延べ102名参加

後期 秋学期



慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部共通



早稲田大学商学部



東京工業大学大岡山キャンパス



早稲田大学理工学部



東京工業大学すずかけ台キャンパス

■受講生

早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 187名

■コーディネーター

厚東 偉介 / 早稲田大学 商学部教授

グローバル化における日本企業の現状と課題

〔シラバス抜粋〕

本年度の寄附講座は、グローバル化の中における日本企業の現状とその諸問題・その挑戦を扱う。日本企業は海外での活動が定着しており、海外の現地企業の売上やそのリターンも確実に増えてきている。先進国だけでなく、中進国・途上国内での活動も、成果を上げ、現地での存在感も大きくなってきている。日本企業は、全体として、日本国内の活動と現地企業との活動の全体性・一貫性が強く求められている。その全体像の一端を、それに携わる方々からうかがう。

①先進国や東欧だけでなくBRICS・アジア諸国・中近東・アフリカなどのエリア②産業・業種③各職務(マーケティング・人事・財務・研究開発 (R&D)などの諸活動…これらのフレームを組み合わせ、本や新聞、マスコミなどでは得られない最新の現状報告を頂きます。

10月4日	オリエンテーション	厚東 偉介	早稲田大学 商学部教授
10月11日	商社における取り組み	壺岐 健司	住友商事 国際物流事業部参事 住商グローバル・ロジスティクス 国際事業本部副本部長
10月18日	味の素の海外戦略とその最前線	黒崎 正吉	味の素 海外食品部長
10月25日	小売業における取り組み	木暮 剛彦	ファミリーマート 執行役員海外事業本部長補佐(兼)海外事業部長
11月8日	住友化学におけるグローバル化と グローバル人材の確保・強化	芳野 寿之	住友化学 人事部部长
11月15日	建設機械製造業における取り組み	駒村 義範	コマツ 代表取締役副社長
11月22日	電機産業における取り組み	清水 章	日立製作所 国際事業戦略本部本部長
11月29日	自動車産業における取り組み ~欧州事業展開の課題と取り組みについて~	影山 公彦	トヨタ自動車 TME-Japan主査
12月6日	日本の損害保険業界におけるグローバル化の取り組み	花澤 敏行	損害保険ジャパン 取締役常務執行役員
12月13日	コニカミノルタにおけるグローバル化の取り組み	松崎 正年	コニカミノルタホールディングス 代表取締役社長
12月20日	情報通信業における取り組み	薮下 真平	日本アイ・ピー・エム システム製品事業専務執行役員
1月10日	繊維産業における取り組み	斉藤 典彦	東レ 常勤顧問
1月17日	化粧品業界における取り組み	永井 達也	資生堂 国際事業本部アジアパシフィック営業部課長
1月24日	まとめ(試験)	厚東 偉介	早稲田大学 商学部教授

■受講生

早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 1年生以上 147名

■コーディネーター

綾部 広則 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域准教授

21世紀における科学技術と社会

～電力技術の現状と展望～

〔シラバス抜粋〕

1997年度に始まった本講座は、幸いにも多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきた。そこで2001年度より、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS (Science, Technology, and Society) 研究が注目されている状況をふまえ、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目として装いも新たに出発した。

本講座では、毎年度さまざまな科学技術関連分野のサブテーマを設定しており、今年度は「電力技術の現状と展望」をとりあげた。昨年度も新エネルギー・省エネルギーにおける科学技術の展望と題して、電力を含むさまざまなエネルギー分野の開発動向を扱ったが、東日本大震災を受けて、経済・社会における電力の重要性があらためて認識されていることから、本年度は電力に特化し、第一線で活躍中の方をお招きして、現状と今後の展望について理解を深める。

10月2日	オリエンテーション	綾部 広則	早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域准教授
10月9日	電力系統技術 電力系統・配電技術	三谷 嘉伸	中部電力 系統運用部系統技術グループ課長
10月16日	電力系統技術 スマートグリッド	塚本 幸辰	三菱電機 系統変電システム事業所電力流通プロジェクトG
10月23日	パワーエレクトロニクスを活用した送変電技術	相原 孝志	日立製作所 インフラシステム社情報制御システム事業部 発電制御システム設計部送変電・ソリューションセンタ主任技師
10月30日	送変電技術 超電導ケーブル	佐藤 謙一	住友電気工業 フェロー材料技術研究開発本部技師長
11月6日	火力発電技術 通常および複合火力発電	堤 淳史	三菱重工業 エンジニアリング本部電力プロジェクト総括部電力計画部長
11月13日	地熱発電	永井 保弘	三菱マテリアル エネルギー事業部地熱・電力部東北地熱事務所
11月20日	原子力発電 含核燃サイクル	竹内 力	日立GEニュークリア・エナジー 原子力技術本部本部長
11月27日	分散型電源 燃料投入型(燃料電池)	田中 崇	東京ガス 技術開発本部商品開発部長
12月4日	分散型電源 自然エネルギー型(太陽光)	中村 京太郎	シャープ ソーラーシステム事業本部 オールブラックスプロジェクトチームBグループ副参事
12月11日	分散型電源 自然エネルギー型(風力)	大塚 篤史	イオスエナジー・マネジメント 企画管理部次長
12月18日	分散型電源 自然エネルギー型(小水力発電技術)	竹尾 敬三	アサシテ環境研究所 代表
1月8日	分散型電源 電力貯蔵型(NAS電池)	沖本 明道	日本ガイシ 電力事業本部NAS事業部技術部長
1月22日	電力技術と社会 電力・電力技術と社会・経済の関係	後藤 久典	電力中央研究所 社会経済研究所主任研究員

■受講生

慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 1~4年生他 317名
京都大学 1~4年生 545名
広島市立大学 1~4年生 55名
大学コンソーシアム京都単位互換参加大学・短期大学 1~4年生 7名

■コーディネーター

小澤 太郎 / 慶應義塾大学 総合政策学部教授
中村 裕一 / 京都大学 学術情報メディアセンター教授
北村 俊明 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
前田 香織 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
小泉 敬寛 / 大学コンソーシアム京都(京都大学 大学院工学研究科)

21世紀の企業の挑戦

~ブロードバンド時代のビジネス戦略~

〔シラバス抜粋〕

この講座は学部学生に対して実社会への窓口となり、学生諸君が自分の将来を考える上で注目度の高い講座となっている。
ブロードバンド時代到来の下での情報通信産業の発展並びに産業全般のIT化の進展は、21世紀の経済面での我が国の国際競争力をかなりの程度決定付けると考えられる。今年度もブロードバンド時代のビジネス戦略に直接携われ、実践されてこられた方々を講師としてお迎えし、最先端の実務の現状並びに解決すべき課題を分かり易く講義して頂く事とした。また、京都大学及び広島市立大学等と遠隔授業を行う。

9月25日	ガイダンス	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授
10月2日	情報通信産業のトレンド	清水 憲人	情報通信総合研究所 グローバル研究グループ主任研究員
10月9日	モバイルパワーの衝撃	辻村 清行	ドコモエンジニアリング 代表取締役社長
10月16日	デジタルコンテンツビジネスが社会構造を変えていく	中尾 光宏	凸版印刷 情報コミュニケーション事業本部 ビジネスイノベーション推進本部本部長
10月23日	非常識な挑戦の魅力	松岡 薫	TDK 執行役員コーポレートR&Dグループゼネラルマネージャー
10月30日 (広島市立大発)	クラウドイノベーションを支える データセンターファシリティのあり方	山井 美和	インターネットイニシアティブ 執行役員サービスオペレーション本部長
11月6日 (京都大発)	ネットワークを活用した生活スタイル	太田 賢司	シャープ フェロー
11月13日 (京都大発)	テレビのデジタル化の次に来るもの	新田 威史	朝日放送 経営戦略室マネージャー
11月20日 (京都大発 京都大と広島市立大 のみでの配信)	社会イノベーションデザインと新たな情報通信技術への挑戦	山田 敬嗣	日本電気 中央研究所支配人
11月27日 (広島市立大発)	ICTを活用した植物工場システムの開発と販売	久保 康司	ハイエレコン ユビキタス事業部ProCALLサービス部長
12月4日	番号制度を巡る最近の動き: 制度設計の考え方と実務へのインパクト	岩下 直行	日立製作所 情報・通信システム社 スマート情報システム統括本部 ビジネスイノベーション本部担当本部長
12月11日	クラウド・コンピューティングによる変革	岡田 昭広	富士通 クラウドビジネスサポート本部本部長
12月18日	ICTでクルマと人と社会をつなぎ、安全・快適で低炭素な モビリティ社会実現に向けたHondaの挑戦	今井 武	本田技研工業 グローバルテレマティクス部部长 役員待遇参事自動車技術会フェロー
12月25日 (慶大と京大 のみでの配信)	中小企業は知恵の経営 ~創業期から成長期にかけての課題をいかに克服するか~	村上 義昭	内閣府 経済社会総合研究所上席主任研究官
1月8日	補論と総括	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授

■受講生

東京工業大学大学院学生 78名

■コーディネーター

奥野 喜裕 / 東京工業大学 大学院総合理工学研究科教授

科学技術特論

～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

全研究科大学院学生を対象に、産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講します。日本を代表し、また世界でも活躍されている産業界のトップ、研究開発部門のエキスパートの方々の講義であり、産業界あるいは企業と大学との接点を見出し、それぞれが描く将来展望のすりあわせを図ります。研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた大学院学生諸君にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待しています。各講義では、討論の時間を可能な限り多く設け、受講生と講師の対話を大切にします。

10月5日	ガイダンス	奥野 喜裕	東京工業大学 大学院総合理工学研究科教授
10月10日	太陽光発電システム導入の現状と将来展望	中村 京太郎	シャープ ソーラーシステム事業本部 オールブラックスプロジェクトチームBグループ副参事
10月17日	発電用ガスタービン技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱重工業 原動機事業本部ガスタービン技術部長
10月24日	燃料電池コジェネレーションシステムの将来展望	田中 崇	東京ガス 技術開発本部商品開発部長
10月31日	自動車業界におけるエネルギー・環境先端技術	大野 栄嗣	トヨタ自動車 東京本社 環境部担当部長
11月7日	エネルギーと気候変動	中山 寿美枝	電源開発 経営企画部地球環境室長代理
11月14日	風力発電の現状と展望	福島 知之	北海道電力 工務部電力システムグループリーダー
11月28日	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術	木下 陽介	全日本空輸 整備本部原動機センター TEAM原動機生産業務部生産技術課リーダー
12月5日	電子デバイスの技術革命： クリーンエネルギー環境社会の創造	住田 成和	TDK 技術本部技術企画部主幹
12月12日	二酸化炭素の回収・貯留技術の現状と展望	熊谷 司	日揮 中国事業開発室室長代行
12月19日	原子力発電の現状及び先進的原子力発電への展望	藤田 玲子	東芝 電力システム社電力・社会システム技術開発センター首席技監
1月9日	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長



2012年度

企業人 派遣講座

一般財団法人

経済広報センター

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

TEL:03-6741-0021 FAX:03-6741-0022

<http://www.kkc.or.jp/>

「企業人派遣講座」ホームページのご案内

これまでの講師や企業・団体の一覧を
経済広報センターのホームページで
ご覧になることができます。

経済広報センター 企業人派遣講座

検索